

# 子どもには、こんな影響が…

## ■体への影響

身体的虐待では、打撲、あざ、骨折、歯が折れる、不自然な傷、やけど、ひどいものでは頭部損傷、内臓損傷などが見られます。

ネグレクトでは、病院に行けずに病気が悪化したり、日常的なケアが受けられず、栄養不良や虫歯になったりします。

性的虐待では、性器の損傷、妊娠、性感染症が見られることがあります。

## ■心への影響

大人や周りの人を信用できなくなり、その後の生き方に深刻な影響を及ぼします。いつも身構える、際限なく甘える、他人に共感できない、パニックをおこしやすい、自分を肯定できないといった問題を抱えます。また、虐待のトラウマは、睡眠障害、多動、悪夢、無感動、無気力などの傷害をもたらします。



## ■行動への影響

かんしゃく、パニック、物を壊す、万引き、暴力、喫煙などの反社会的行動、リストカット

## ひとりでも悩まないで

### ■子育てに不安はつきもの

イライラして子どもにあたってしまう、かわいいと思えない、つい怒鳴ったり、ひどいことを言ったり、無視してしまう…こんな時はありませんか？

それはあなたただけではありません。子育てに不安はつきもの。誰でもネガティブな気持ちになることがあるものです。

### ■誰かに相談してみよう

そんな気持ちをため込んでしまふのはよくありません。「こんなこと話したら引かれてしまう…」などと考える必要はありません。配偶者や家族、友達など身の周りの誰かに思い切った打ち明けて見ましょう。身近な人に話すことに抵抗があれば、市役所のこども福祉課などの相談機関を利用しましょう。

などの自傷行為、拒食や過食、アルコール・薬物依存など深刻な影響を及ぼします。また、攻撃性は内面にため込まれる場合もあり、抑うつ、不安感や寝付けない、食欲不振などの身体的反応が見られたりします。



### ■がんばりすぎない

子育てはひとりだけでがんばるものではありません。配偶者はもちろん、家族やおじいちゃん、おばあちゃん、地域の人も協力を求めましょう。

また、児童館や子育て支援室などを利用して、悩みを分かち合える子育て仲間をつくらんと心強くなります。

# 不安に思ったらすぐ連絡ください

子育てに不安や悩みはつきものです。イライラしてつい手をあげてしまったり、「この子がいなければ…」このままでは虐待してしまいたい」と思い悩むこともあると思います。それは特別なことではなく、誰にでも起こりうることです。

子育てのつらさをこぼすのは決して恥ずかしいことでも甘えでもありません。取り返しのないことになる前に、SOSを発してください。誰かに相談することで、解決への道が開けます。

### 虐待、児童に関する相談

いばらき虐待ホットライン

☎ 0293 - 22 - 0293 (24時間電話受付)

### 気軽にご相談ください

つくばみらい市こども福祉課 (家庭児童相談室)

☎ 58 - 2111 (内線 1161)

◎午前9時～午後4時/土、日、祝日、年末年始を除く

※秘密は厳守します。

## 虐待かも？と思ったらまず連絡を！

虐待を受けていると思われる児童を発見した場合は、市窓口または児童相談所に通告することが義務付けられています。なお、通報者のプライバシーは法律で守られます。

### こんな様子を見かけたら ～虐待のサイン～

- 子どもの様子  
傷やアザが不自然についている、いつ見ても服装や身体が不潔、感情を出さない、夜間でも家の外にいる など
- 保護者の様子  
幼い子どもを残したまま頻繁に外出する、子どもを過剰に叱る・ののしる、近所や地域で孤立している など
- 家庭の様子  
子どもの異常な泣き声が聞こえる、親の怒鳴り声が聞こえる、子どもの姿をめったに見ない など

### 虐待かもと思ったら

児童相談所全国共通ダイヤル  
(厚生労働省)

いちはやく  
☎ 189